

かさおか



「やわやかなコンサート2025」

笠岡地区まちづくり協議会は平成24年4月に発足して13年目を迎えますが、発足当時の4月1日に笠岡市総合体育館で市政施行60周年記念式典が行われ「協働のまちづくり宣言」が採択されました。

以来、元の笠岡郵便局1階に事務所を構えて、地域の課題解決や特色を生かした活動に取り組んで参りました。そして、総会後には安芸高田市や雲南市から講師をお招きして先進地の活動を学ぶ一方、平成30年にはミニコンサートを開き、笠岡西中学校から顧問の行吉先生を始め27名の部員が来館して軽快な演奏やコーラスを披露していただきました。

更に、翌年にも演奏会が実現し、男子部員が扮した「さかなクン」が登場するなど愉快的コンサートであったことが思い出されます。

その後はコロナ禍とか吹奏楽部の行事のため演奏会が叶いませんでしたが、今年は久々に演奏会が実現し、顧問の田原先生、副顧問の中塚先生、そして16名の部員によって「笠岡西中学校吹奏楽部はここにあり!!」と、軽快な音色が集会室に響き渡り、保護者の方を始め約100名の観客がコンサートを楽しましました。

学業の傍ら部活の取り組みは苦勞が絶えないと思いますが、より良い演奏を目指して頑張ってください。皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

会長

- ・ 7月6日(日) 10:00～
第2回笠岡地区未来会議を予定
- ※ 8月の予定
- ・ 8月8日(金) 18:30～
令和7年第4回総務部会を予定
- ・ 8月17日(日) 10:00～
令和7年第4回役員会を予定



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地
「井戸会館」内
電話：63-5949
Fax：75-0101
E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp
開館日：月・水・金曜日 14時～17時

令和7年度定期総会開催

新型コロナもいつしか落ち着いて社会活動も活気を取り戻しています。本年度は6月1日に総会を開催し、委員総数78名中67

名(うち委任状34名)のご出席を頂き、次の5議案が承認・可決されました。

- ・第1号議案 令和6年度活動報告について
- ・第2号議案 令和6年度収支決算並びに監査報告について
- ・第3号議案 役員の承認について
- ・第4号議案 令和7年度活動計画(案)について
- ・第5号議案 令和7年度収支予算(案)について

令和6年度活動報告

事務局	開館日に会長と事務主任が常駐し、事務処理や来館者の応対等に携わりました。
総務部会	定期的に会議を開いて各部会や役員会の調整を図りました。特に、策定から7年目となるまちづくり計画を見直すため、プロジェクトチームを立ち上げて検討作業に取り組み、「未来づくり会議」を開催しながら地域の現状を探りました。
くらし部会	第7回防災学習会を開催して「防災シミュレーター」「能登半島地震複合災害・避難所の在り方を考える」などを学びました。
子育て部会	小学1年生の入学に合わせ、自転車前カゴの「ひまわりプレート」を保護者に配付して見守り活動の協力を呼びかけました。また、「第11回子どもふれあい祭り」を開催し、感染対策のもとで親子がプラ板作りやCDコマ作りなどで楽しく親睦を深めました。
福祉部会	集会室等を活用して、介護予防のための「いきいき100歳体操」を開いたり、「クラフトバンド」や「モルタルデコ」の趣味の教室を開いたりして会員の親睦を図りました。
文化部会	夏休みを活用して、小学生を対象に歴史教室「ふしぎ発見かさおか塾」を開き、生涯学習課の安東参事から笠岡小学校の歴史やカブトガニの生態などを学びました。
広報部会	コロナ禍後、小・中学校の行事や地域の行事が復活して賑わいを見せており、マンネリ化しないよう広報紙の紙面を工夫しながら情報発信に努めました。
地区運営委員会	川北地区の親睦餅つき大会が再開され、下田頭地区の花いっぱい活動に協力しました。

令和6年度収支決算報告

「笠岡市交付金分」

【収入の部】

(単位：円)

	予算額	決算額	摘要
笠岡市交付金	1,992,000	1,946,537	運営交付金
その他収入	0	0	
合計	1,992,000	1,946,537	

【支出の部】

(単位：円)

区分	予算額	決算額	摘要
人件費	800,000	799,630	会長・事務主任報酬
管理費	783,000	767,738	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000、電気水道代 96,000 事務用品 120,243、郵便・電話代、コピー代他
活動費	409,000	379,169	総会・役員会・部会の活動経費
合計	1,992,000	1,946,537	

※収入支出差引残額の45,463円は剰余金として市に返還しました。

「事業会計分」

【収入の部】

(単位：円)

	予算額	決算額	摘要
繰越金	550,545	550,545	
売上金	0	18,500	冊子売上(笠岡の歴史散見集他)
その他収入	0	10,160	コピーサービス、利息等
合計	550,545	579,205	

【支出の部】

(単位：円)

	予算額	決算額	摘要
繰出金	0	0	
合計	0	0	

※収入支出差引残額の579,205円を次年度に繰り越しました。

令和7年度活動計画

区 分	活 動 内 容
総務部会	笠岡地区まちづくり計画に基づき各事業の進捗状況を確認しながら地域の活性化を図る。総会及び役員会を開催する。まちづくり協議会の活性化を図るための研修会を開く。
くらし部会	自主防災会及び消防団等と連携して防災について学習し、自助・共助の力を培う。防災学習会を開催して災害の対処方法などを学び地域の防災意識を高める。
子育て部会	子どもふれあい祭りを開催し、子ども達の交流を図り地域の絆を深める。自転車の「見守りプレート」を新一年生保護者に配付して見守り活動を推進する。
福祉部会	井戸会館を「町のテラス」と見立てて、いきいき100歳体操を始めクラフトバンド教室やモルタルデコ教室を開いて会員の親睦を図る。
文化部会	夏休みに小学生を対象に「歴史をひもとく楽しさ」の講座を開いて、地域の歴史や文化を知ることで郷土への愛着心を養う。
広報部会	広報紙を発行してまちづくり協議会の活動を紹介し、住民意識の高揚を図る。
地区運営委員会	親睦餅つき大会の開催や花いっぱい活動に協力して地域活動の活性化を図る。

令和7年度収支予算

【収入の部】			(単位：円)
区 分	予 算 額	摘 要	
笠岡市交付金	1,982,000	運営交付金	
その他収入	0		
合 計	1,982,000		

【支出の部】			(単位：円)
区 分	予 算 額	摘 要	
人件費	800,000	会長・事務主任報酬	
管理費	767,000	事務所の運営経費 うち井戸会館賃借料 240,000 電気・水道代 96,000 その他事務用品・コピー代等 431,000	
活動費	415,000	総会・役員会・部会の活動経費	
合 計	1,982,000		

事業会計分

【収入の部】			(単位：円)
区 分	予 算 額	摘 要	
繰越金	579,205	前年度繰越金	
合 計	579,205		

【支出の部】			(単位：円)
区 分	予 算 額	摘 要	
繰出金	0		
合 計	0		

いと IDOシネマのご案内

第41回映画会 7月6日(日) 14時開演

※開演の時間を午後に変更しています。

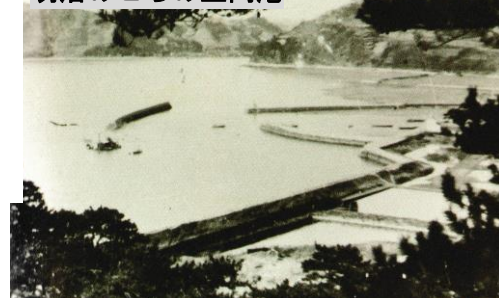
昭和の日本『大正から昭和へ』他

★第42回映画会は8月3日(日)の予定です。

詳しい内容は裏面に掲載しています。



明治のころの笠岡港



戦後80年の節目の今年

みんなで考えよう！

今年、2025年は、終戦から80年という節目の年です。また戦争が終わった昭和20年から80年の今年、昭和でいえば100年です。

世界では今なお戦火が止む事はなく、平和への強い思いを持ち、平和の大切さを学び、伝え広げていくことが今の私たちの務めではないでしょうか。

幼い頃の空襲体験談をもとに製作されたドキュメント映画「未来へのバトン」は、岡山県内各地の空襲体験者からの「あの時の記憶」と、平和を願って活動している個人や団体、そして倉敷古城池高校歴史研究チーム、岡山南高校書道部の若い世代の思いを未来につなぎます。

笠岡小さな映画館プロジェクトでは、平和を祈念して上映会を開催します。※定員は各回とも60名

とき 8月3日(日)10時と13時30分の2回上映
上映会後に石邨監督のトークがあります。

ところ 井戸会館2階シアタールーム

入場料 一般1,000円、大学・短大・専門学生 500円
高校生以下無料、障がい者と付き添いは500円

主催 笠岡小さな映画館プロジェクト

後援 笠岡市・笠岡市教育委員会

協力 一般社団法人 笠岡市観光協会

問い合わせ 笠岡小さな映画館プロジェクト

代表・榊平 090-1352-3198(9時から16時)



ウクライナで、ガザで戦争の惨禍が止むことなく続いています。しかし、日本でも第二次世界大戦中、全国60万人を超える民間人が空襲や原爆の犠牲となりました。この映画は私たちの暮らす岡山県内各地の空襲体験者の方々の「あの時の記憶」と、平和を願って活動している個人や団体、そして倉敷古城池高校歴史研究チーム、岡山南高校書道部の若い世代の思いを未来につなぎます。



観覧ご希望の方は
右のQRコードを
読み込んで申込み
下さい。



水難事故に注意しましょう！

梅雨が明けると、本格的な夏の暑さとともに水に接する機会が多くなり、海や川、プールなどでの水による事故が増える時期となります。また、風呂場などでの水の事故を防ぐためにも、正しい知識を持って大切な命を守りましょう。

水の事故を防ぐために

★家庭や子どもの遊び場では

- ・幼い子から目を離さない。(少しの水量でも窒息します。)
- ・子どもだけで遊ばせない。(川や池、海辺は特に注意する。)
- ・危ないと感じたら、自分の子どもでなくても注意をする。

★レジャーでは

- ・準備体操をしっかり行い、定期的に休憩をとる。
- ・体調が悪い時は泳がない。また自分の力を過信しない。
- ・危険と思われる場所や、遊泳禁止区域では泳がない。
- ・釣りなどのレジャーを楽しむ場合でも、ライフジャケット(救命胴衣)を着用する。

万が一、事故が起きたら

- ・心を落ち着かせて、大声で周りの人に知らせる。
- ・119番通報を依頼し、周りの人と協力してロープや竿、浮き輪などで救助する。



編集後記

かつての“梅雨”は毎日しとしと雨が降っていましたが、近年は、晴れる日もある一方で、より強い雨が短い時間にドカンと降ると大きな災害に繋がっています。

梅雨が明けるといよいよ厳しい暑さ、そして台風シーズンにもなります。体調管理と防災対策を忘れずに！

